

# 平成27年度 第1回 高槻市中心市街地活性化協議会 会議録

日 時：平成27年8月6日（木）午後2時～3時  
場 所：高槻商工会議所 4階 大ホール  
出席者：協議会会員25名  
事務局：高槻商工会議所、高槻都市開発株式会社  
市担当課：高槻市産業振興課

## 1 開 会

### (1) 定足数の報告

会員総数27名中出席者25名で、規約第7条第4項により定められた定足数（過半数14名）を満たしている旨が報告され、「平成27年度 第1回高槻市中心市街地活性化協議会」が有効に成立していることが確認された。

### (2) 会長挨拶

高槻市中心市街地活性化協議会 会長 金田忠行 氏

### (3) 副市長（市長代理）挨拶

高槻市 副市長 石下誠造 氏

### (4) 出席会員の自己紹介

## 2 高槻市中心市街地活性化基本計画の実施結果について

### (1) 事業の成果およびについての事務局説明

平成21年12月から平成27年3月まで5年4か月取り組んだ。基本計画事業は67事業あり、平均進捗率は全体では75%、市が75.9%、民間等が74.5%であった。未着手の事業はない。駅北、駅間、駅南の各ゾーンについての事業、また、場所を特定しない事業について、多くの取組がなされた。

### (2) 数値目標についての事務局説明

本計画の実施結果は今年5月に内閣府に報告している。当初、本計画では活性化の目標として、中心市街地内の回遊性の向上、商業の質の向上 による商業集積の吸引力の増進の2点を掲げ、その目標指標として、それぞれ歩行者通行量と小売業年間商品販売額を設定した。これらの結果は、数値的には目標に及ばなかった。

しかしながら事業は概ね順調に進捗し、中心市街地活性化協議会からは「まちづくりに対する数字に表れない意識の向上につながった」との意見もいただき、また地域

からは魅力的な飲食が増えた、歩きやすくなったとの声もあることから、定性的には評価できる面があったと考え、若干の活性化が図られたと評価している。

また、歩行者通行量については計測地点が成果を判断するのに適切であったか、小売業年間商品販売額については事業終了時点の実績値がとれず過去実績からの推計によらざるを得なかったことなどあり、目標指標の設定方法が妥当かについては、次期計画において十分に検討が必要と考えている。

### 3 今後の取組みについて

#### (1) 事務局説明

第2期計画についても内閣府の認定を目指す。策定にあたり3つのポイントがある。一つ目は、誰もがわかりやすい事業の提示と、明らかな効果が期待できる事業の立案。二つ目は、基本計画の認定を要点とする支援対象となる事業者、民間が主体となる事業の立案。三つ目は、中心市街地全体の活性化を進めるためのエリアマネジメントの仕組みづくりである。

また、中心市街地活性化に向けた課題設定においては、全市への波及効果、クオリティ・オブ・ライフの側面、高槻だからできる民間事業者創出の三つの視点が重要と考える。

実施スケジュールとしては、平成28年度末に内閣府認定を受けるには平成28年6月には内閣府への説明が必要となる。検討体制としては、中心市街地活性化協議会のほか、産業振興審議会にて検討する。また協議会内においてもより踏み込んだ議論をするためにワーキンググループを設置する予定である。

### 3 各会員からの情報提供

#### (1) 高槻市場協同組合 理事長 下村義明 氏

市場の建物は50年前に建てられ耐震化ができていないため、建替を検討している。まだ数年かかると思うが活性化のために頑張りたい。進めるにあたっては、市や商工会議所の補助、支援を期待している。

#### (2) たかつき中通り本通り商店街振興会 会長 中川修一 氏

センター街から三本北の道で電線地中化を進めているが、工事期間が半年くらいあり、その間は舗装がでこぼこになる。人通り多い、本通りのときには日々の通行を妨げないように行ってほしい。

#### (3) 学校法人大阪医科大学 総合企画部 部長代理 水嶋 泰之 氏

新名神高速道路の整備に関連して、大阪府より大学の敷地東側の道路に接する敷地を幅2メートル提供してほしいと申し出を受けている。また、敷地北川の道路に接す

る敷地についても、高槻市より1メートル強を提供してほしいと言われており、協議している。

また高槻中学・高校については平成29年4月より共学化し、学生も増えることから、後者の建て替えを進めている。

## 4 閉 会

### (1) 副会長挨拶

高槻センター街商店街振興会組合 理事長 木ノ山雅章 氏